

住宅の断熱化と居住者の健康への影響に関する全国調査 第6回報告会

～国土交通省スマートウェルネス住宅等推進事業調査による住環境政策に資する最新の医学的エビデンス～

一般社団法人日本サステナブル建築協会（JSBC 会長：吉野博）は、国土交通省補助事業「スマートウェルネス住宅等推進事業」において、住生活空間の断熱性向上が居住者の健康に与える影響を検証する全国調査を2014年度から2018年度まで実施してまいりました。2019年度からは長期コホート（追跡）調査を実施しています。全国2000世帯・4000人の世界的にも貴重な調査分析成果は、現時点までに国際医学論文8編、国内医学論文2編として刊行され、今後も順次論文化を進めています。また、住宅の断熱改修5年経過後の分析も開始しています。

世界保健機関は、2018年11月に、WHO住宅と健康ガイドラインを公表し、冬季室温18℃以上、住宅新築・改修時断熱工事などを勧告し、各国の対応が求められています。また、新型コロナウイルス感染爆発によって、新型コロナ重症化につながる基礎疾患の予防、在宅勤務への対応、自然災害時にも避難所に逃げずに済む住まいなどへの関心も高まっています。さらに、2020年10月の「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」とした首相所信表明と11月の衆参両院における「気候非常事態宣言」決議案の可決など住宅の省エネルギー対策の加速が求められます。

住宅に携わる方はもちろん、住宅の温熱環境と健康にご興味をお持ちの方、断熱改修をご検討の方など、多くの皆様のお越しをお待ち申し上げます。

開催概要

- 主催：一般社団法人日本サステナブル建築協会
 - 後援：一般財団法人建築環境・省エネルギー機構
 - 日時：2022年2月18日（金）13：30～17：00（受付開始は13：25を予定）
 - 方法：Zoomによるウェビナー方式 ■定員：400名 ■参加費：無料（事前登録制）
- <お申込はこちら> https://www.jsbc.or.jp/seminar/220218_event.html

プログラム

一部調整中のため、予告なく変更になる場合がございます。

1. 挨拶（10分）
国土交通省 住宅局 安心居住推進課長 上森 康幹 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 委員長／
一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長 村上 周三 氏
2. 住環境政策に資する最新の医学的エビデンスと改修5年後調査速報（160分＋休憩10分）
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 幹事 兼 調査・解析小委員会 委員長／
慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授 伊香賀俊治 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 委員 兼 調査・解析小委員会 副委員長／
産業医科大学 産業生態科学研究所 教授 藤野 善久 氏
調査・解析小委員会 委員／東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 助教 海塩 渉 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 調査・解析小委員会 幹事／
北九州市立大学 国際環境工学部 建築デザイン学科 准教授 安藤真太郎 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 委員／東京都立大学名誉教授 星 旦二 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 調査・解析小委員会 委員／
住宅団体連合会推薦委員（積水ハウス） 伊藤 真紀 氏
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 調査・解析小委員会 委員／
法政大学 デザイン工学部 建築学科 教授 川久保 俊 氏
3. 質疑応答（30分）